

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年8月1日

【四半期会計期間】 第64期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 ホクシン株式会社

【英訳名】 HOKUSHIN CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 平良秀男

【本店の所在の場所】 大阪府岸和田市木材町17番地2

【電話番号】 072(438)0141(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理部長 西丸義孝

【最寄りの連絡場所】 大阪府岸和田市木材町17番地2

【電話番号】 072(438)0141(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理部長 西丸義孝

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第63期 第1四半期累計期間	第64期 第1四半期累計期間	第63期
	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	2,398,002	2,536,596	9,971,751
経常利益 (千円)	109,942	32,110	376,543
四半期(当期)純利益 (千円)	103,652	10,188	285,180
持分法を適用した場合の 投資利益 (千円)			
資本金 (千円)	2,343,871	2,343,871	2,343,871
発行済株式総数 (千株)	28,373	28,373	28,373
純資産額 (千円)	2,982,776	3,206,965	3,270,043
総資産額 (千円)	9,993,705	10,064,129	10,205,377
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	3.66	0.36	10.06
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
1株当たり配当額 (円)			1.5
自己資本比率 (%)	29.8	31.9	32.0

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第63期第3四半期まで連結財務諸表を作成しておりますので、第63期第1四半期の持分法を適用した場合の投資利益は、記載しておりません。第63期及び第64期第1四半期の関連会社の持分法を適用した場合の投資利益は、利益基準及び剰余金基準から見て重要性が乏しいため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 経営成績の分析

当第1四半期累計期間におけるわが国の経済は、政府によるデフレ脱却に向けた金融政策や成長戦略への期待感から、円安・株高が進行し、輸出や生産は回復基調となりました。また、企業収益の改善から設備投資や個人消費は持ち直し傾向となりました。しかしながら、欧州の金融不安や中国経済の減速懸念等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社と関連の深い住宅業界におきましては、景況感の改善と消費税増税前の駆け込み需要を見込んだ投資により、住宅着工戸数は、平成25年4月から平成25年5月までの累計で前年比10.0%増加し、底堅い動きとなりました。

当該期間の業績につきましては、原材料費及びエネルギー関連費用（LNG、電力）の上昇が収益を圧迫し、販売量の増加や生産性の改善などコストダウンに努めましたが、利益は小額に止まりました。

当第1四半期累計期間の売上高は25億36百万円（前年同四半期比5.8%増）、営業利益は42百万円（同 65.3%減）、経常利益は32百万円（同 70.8%減）、四半期純利益は10百万円（同 90.2%減）であります。

(2) 財政状態の分析

資産、負債及び純資産の状況

資産

流動資産は、前事業年度末に比べて2億7百万円減少し、43億23百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少、受取手形及び売掛金の減少、商品及び製品の減少によるものです。

固定資産は、前事業年度末に比べて66百万円増加し、57億40百万円となりました。これは主に有形固定資産の増加と投資有価証券の減少によるものです。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて1億41百万円減少し、100億64百万円となりました。

負債

流動負債は、前事業年度末に比べて3億30百万円減少し、45億30百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少、短期借入金の減少によるものです。

固定負債は、前事業年度末に比べて2億51百万円増加し、23億26百万円となりました。これは主に長期借入金の増加によるものです。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて78百万円減少し、68億57百万円となりました。

純資産

純資産は、前事業年度末に比べて63百万円減少し、32億6百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少及びその他有価証券評価差額金の減少によるものです。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期累計期間の研究開発費は、20百万円であります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	99,713,700
計	99,713,700

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月1日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	28,373,005	同左	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は 100株であります。
計	28,373,005	同左		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年6月30日		28,373		2,343,871		

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の議決権の状況については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 18,100		
完全議決権株式(その他)	普通株式 28,329,300	283,293	
単元未満株式	普通株式 25,605		
発行済株式総数	28,373,005		
総株主の議決権		283,293	

(注) 「単元未満株式」の株式数欄には、当社所有の自己株式94株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) ホクシン株	岸和田市木材町17番地2	18,100		18,100	0.06
計		18,100		18,100	0.06

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が200株(議決権2個)あります。なお、当該株式数は、上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」欄に含めております。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

3．四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】
 (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,109,018	1,034,482
受取手形及び売掛金	1,457,185	1,438,143
商品及び製品	1,111,945	1,019,087
仕掛品	223,129	221,183
原材料及び貯蔵品	497,292	502,775
その他	132,494	107,528
流動資産合計	4,531,065	4,323,201
固定資産		
有形固定資産		
機械及び装置（純額）	1,200,064	1,357,433
土地	3,107,817	3,107,817
その他（純額）	623,821	582,877
有形固定資産合計	4,931,703	5,048,128
無形固定資産	15,793	17,665
投資その他の資産		
投資有価証券	693,584	645,914
その他	39,329	35,319
貸倒引当金	6,100	6,100
投資その他の資産合計	726,814	675,133
固定資産合計	5,674,311	5,740,927
資産合計	10,205,377	10,064,129

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,059,086	1,957,999
短期借入金	1,200,000	1,000,000
1年内償還予定の社債	168,000	135,000
1年内返済予定の長期借入金	1,046,368	996,835
未払法人税等	35,467	2,943
賞与引当金	99,000	41,000
その他	252,391	396,474
流動負債合計	4,860,313	4,530,252
固定負債		
社債	50,000	50,000
長期借入金	1,460,003	1,699,170
繰延税金負債	196,241	180,075
退職給付引当金	329,117	315,574
環境対策引当金	19,737	20,005
その他	19,919	62,085
固定負債合計	2,075,019	2,326,911
負債合計	6,935,333	6,857,163
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,343,871	2,343,871
利益剰余金	1,001,924	969,581
自己株式	3,196	3,206
株主資本合計	3,342,599	3,310,245
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	29,193	2,311
繰延ヘッジ損益	24,852	25,633
土地再評価差額金	126,602	126,602
評価・換算差額等合計	72,556	103,279
純資産合計	3,270,043	3,206,965
負債純資産合計	10,205,377	10,064,129

(2)【四半期損益計算書】
 【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,398,002	2,536,596
売上原価	1,987,565	2,195,956
売上総利益	410,436	340,639
販売費及び一般管理費	288,760	298,393
営業利益	121,676	42,246
営業外収益		
受取利息及び配当金	6,650	6,323
業務受託料	4,350	2,850
その他	793	1,772
営業外収益合計	11,793	10,945
営業外費用		
支払利息	15,518	13,283
その他	8,009	7,798
営業外費用合計	23,527	21,081
経常利益	109,942	32,110
特別損失		
固定資産除却損	-	20,635
特別損失合計	-	20,635
税引前四半期純利益	109,942	11,475
法人税、住民税及び事業税	6,290	1,286
法人税等合計	6,290	1,286
四半期純利益	103,652	10,188

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

1 手形割引高

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形割引高	1,433,467千円	1,480,758千円

2 四半期会計期間末日満期手形

四半期会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。
 なお、当第1四半期会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期会計期間末日満期手形が、
 期末残高に含まれております。

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
支払手形	9,351千円	6,342千円

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半
 期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	46,621千円	57,242千円

(株主資本等関係)

前第1四半期累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の未
 日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	42,532	1.50	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期会計期間の未
 日後となるもの

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社が有している関連会社は、利益基準及び利益剰余金基準からみて重要性の乏しい関連会社であるため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、MDF事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	3円66銭	0円36銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	103,652	10,188
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	103,652	10,188
普通株式の期中平均株式数(千株)	28,355	28,354

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月 1日

ホクシン株式会社
取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 萩森 正彦 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているホクシン株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第64期事業年度の第1四半期会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、ホクシン株式会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。